

平成29年度 森づくり県民提案事業 実施報告書

事業名

「黒森古道の巨木杉・ブナとその周辺の整備」

目次

1. 事業の目的・特徴
2. 活動の計画
3. 活動状況
4. まとめ
5. 添付資料

平成29年度県民提案型計画地図

黒森山古道の全ルート

平成29年12月25日

金沢諏訪堂の会

1. 事業の目的・特徴

昨年度に引き続き下記事業を達成することを今年度の目標とした。

金沢から黒森山に至る古道、かつての生活道がある。全長8キロ位。標高は150から760メートル。標高600メートルの古道周囲には、500年を越す杉の巨木が6本ある。近くにはクロサンショウウオやモリヤマガエルが生息する沼もある。しかし、巨木とその周辺は保全作業が施されずに荒廃した状況にある。巨木杉の手入れをし、その周辺を藪払い、簡易下刈りを施し整備してこの一帯を、山を愛好する人々の憩いの場とすること。

2. 活動の計画

今年度の実施計画に基づいて黒森古道周辺の作業を行った。場所は、金沢の黒森・御嶽登山口から黒森古道を6キロメートルほど登った黒森山の麓である。所番地は、美郷町六郷東根である。ここには、杉の巨木千古杉と三日月型の三日月沼がある。この千古杉と三日月沼周辺に簡易下刈りを施し、古道を歩けるようにした。

先ずは、昨年に再開拓した黒森古道の鏡沼近くの三叉路から千古杉までの古道の草刈りを行った。その後、千古杉から御嶽黒森山登山道に至る未開拓の黒森古道に対して保全作業を行った。また、千古杉周辺の藪払いと下刈りを行い、切り取った樹木枝葉の集積処理を施した。道具は、チェーンソー、刈り払い機、ナタ、ノコギリ、スコップ、ツルハシ、トガなどである。

7月 1日	鏡沼から千古杉までの古道の草刈り
7月 8日	千古杉周辺の簡易下刈り
7月 15日	三日月沼周辺の簡易下刈り
7月 22日	千古杉から御嶽黒森山登山道に至る古道の簡易下刈り
9月 30日	千古杉から御嶽黒森山登山道に至る古道の簡易下刈り
10月 7日	黒森古道開通記念登山

道具が多く重いことから途中までキャタピラで運搬した。また、藪払い、下刈り、チェーンソー作業などの山仕事を「農事組合法人十二牲担い手生産組合」の専門家に委託した。

10月7日には、千古杉と古道開通の記念登山を計画した。千葉県「我孫子山の会」と横手山岳協会と金沢諏訪堂の会からの14名の参加があった。

3. 活動状況

平成29年7月1日、7月8日、7月15日



キャタピラで道具を運搬



古道の始点、鏡沼



鏡沼から千古杉への古道



簡易下刈と集積処理



古道上の倒木の処理



刈払い機による下刈り



下刈り前の古道



下刈り後の古道

平成 29 年 7 月 22 日、9 月 30 日

千古杉から三日月沼を抜け御嶽黒森山登山道に至る古道の簡易下刈り



古道の側面の下刈り



三日月沼周辺の整備



登山道からの入り口



灌木を伐採撤去



整備後の古道



草と灌木に覆われた古道



作業し進む



古道上の枝葉を伐採



三日月沼周辺の古道



開通した古道

平成 29 年 10 月 7 日

朝から生憎の雨だが、午前 8 時に事務局前に集合し、黒森古道開通記念登山を挙行了た。



登山参加者：事務局前にて



雨の中黒森古道を登山



溪流の辺：杜鵑橋



古道沿いのブナ、ナラ林



雨に煙る鏡沼



雨の中全員無事に下山

3. まとめ

昨年度に続き黒森古道の保全作業尾を行った。鏡沼を始点とし、千古杉と三日月沼を經由し、御嶽黒森登山道に至る道のりである。年度初めに策定した計画に基づいて簡易下刈り、集積処理を実施した。実施に当たっては、「農事組合法人十二牲担い手生産組合」にキャタピラ運転、チェンソー作業、刈払い機による下刈りを委託した。都合五回の山入りで、目的を達成することができた。

10月7日に、黒森古道開通の記念登山を挙行了。生憎、その日は雨となったが14余名が参加してくれた。遠路はるばる千葉県の「我孫子山の会」から6名、横手登山協会から3名の参加をみた。黒森古道、マンモス杉、峰の老松、岩嵯沢峻道、鏡沼を踏査し楽しんで貰った。

来年度以降も「秋田県水と緑の森づくり税事業」に参加し、美しい黒森山地の山林を多くの人々が愛し、慈しむような社会になるように努力したい。そして、最終的には地球温暖化をストップさせる活動に繋げてゆきたい。このような事業を考え実施するきっかけを与えてくれた秋田県の事業計画に感謝したい。

以上